

- 問1 1842年に、幕府が異国船打払令を改めて、外国船に燃料や食料を与えることにしたきっかけとなった中国（清）の戦争は？
- 問2 『解体新書』の刊行をきっかけに、日本で発展することとなった学問分野を何という？
- 問3 江戸時代、日本から銅などを輸出する唯一の貿易港として利用された場所はどこ？
- 問4 江戸時代、蝦夷地においてアイヌ民族との交易を独占し、海産物などを流通させた大名を何という？
- 問5 天明の飢饉の後、幕府の権威を立て直すために寛政の改革を行い、困米の制などの対策をとった老中を誰という？
- 問6 武家諸法度などに違反した大名に対して行われた、領地の没収や取り潰しを何という？
- 問7 江戸時代、金貨が主に流通した東日本と、銀貨が主に流通した西日本の間で、異なる貨幣を計算して交換することを何という？
- 問8 生類憐みの令が発令された、徳川綱吉の時代のことを何という？
- 問9 元禄文化期に活躍し、人形浄瑠璃の脚本で有名な人物は誰？
- 問10 歌川広重の浮世絵が、パリ万国博覧会を通じて西洋の画家に与えた芸術的影響を何という？
- 問11 幕府が伊能忠敬に全国測量を命じた最大の目的は何の調査のため？
- 問12 幕府が外国船への対応を改め、やがて開国へと向かうきっかけとなった、1837年に起きた事件を何という？
- 問13 江戸時代、幕府から知行地を与えられ、寛政の改革における借金帳消しの対象となった、将軍直属の家臣たちを何という？
- 問14 江戸時代後期の町人文化において、庶民の生活や風俗、風景などを描いた絵画芸術を何という？
- 問15 享保の改革を行い、財政再建のために積極的に新田開発を推進した江戸幕府の第8代将軍は誰ですか？
- 問16 18世紀後半以降、各藩が財政を立て直すために行った、新しい農地を切り開く事業を何という？
- 問17 江戸幕府が全国で統一して使用するために定めた、金貨・銀貨・銭貨からなる貨幣制度全体を何という？
- 問18 公事方御定書を制定した人物は誰？
- 問19 江戸時代、大名が江戸と領地を往復するよう義務づけられた制度を何という？
- 問20 幕府がキリスト教禁止を徹底するために禁止した、ある国からの船の来航を何という？
- 問21 江戸幕府を開き、幕藩体制の基礎を築いた人物は誰？

## 答え合わせ・解説

問1	答え アヘン戦争	1840年に勃発したアヘン戦争での清の敗北は、当時の世界情勢における西洋諸国の強さを物語っていました。これを受けて、日本でも幕府が強硬な鎖国政策を続けていたのでは危険であるとの認識が広がりました。
問2	答え 西洋医学	杉田玄白らが『解体新書』を出版したことにより、西洋医学の知識は広く知られるようになりました。それまでの「病は気やバランスによるもの」という考え方に加え、内臓の構造などを実際に観察する「科学的」なアプローチが導入されました。
問3	答え 長崎	長崎の出島にはオランダ商館が置かれ、中国（清）との貿易も行われました。銅は重要な輸出品であり、銀とともに日本が海外から金や絹などを輸入するための決済手段として重視されました。
問4	答え 松前藩	松前藩はアイヌ民族に対して、生活必需品と引き換えに毛皮や海産物を得る「場所請負制」を展開しました。交易の利権を独占することで財政を支えましたが、過酷な労働や交易条件によりアイヌの人々と摩擦が生じることもありました。
問5	答え 松平定信	松平定信は、田沼意次の重商主義的な政治を否定し、儒教を重んじる厳しい政治を行いました。儉約を奨励し、備蓄米を確保する困米の制を設けるなど、農村の復興と財政の安定を最優先にしました。
問6	答え 改易	大名が武家諸法度に違反した場合や、幕府に背く行為をした際、幕府は「改易」を命じました。改易されると領地と城を没収され、大名の身分を失います。また、領地の場所を移す「転封（てんぼう）」も行われ、大名が特定の地に定着して勢力を強めることを防ぎました。
問7	答え 両替	異なる貨幣を用いる商人や藩同士が取引を行うためには、金と銀の交換が必要不可欠でした。この交換業務を専門に行うのが両替商です。彼らはただ交換するだけでなく、預金を受け入れたり、為替を発行して遠方への送金を代行したりする金融機関のような役割も果たしました。
問8	答え 元禄時代	元禄時代は、学問や芸術が奨励され、近松門左衛門の浄瑠璃や松尾芭蕉の俳諧などが生まれた華やかな時期です。一方で、徳川綱吉による文治政治が展開され、朱子学が重視されるなど思想面での変化も見られました。
問9	答え 近松門左衛門	近松門左衛門は、人形浄瑠璃の脚本を数多く執筆し、特に社会のルールと個人的な感情の狭間で苦しむ男女を描いた「心中物」で絶大な人気を誇りました。彼の書いた台本は人形浄瑠璃だけでなく、歌舞伎でも取り上げられ、日本演劇の黄金時代を築きました。
問10	答え ジャポニスム	歌川広重や葛飾北斎らの浮世絵は、ゴッホやモネといった画家に強い刺激を与え、「ジャポニスム」と呼ばれる日本趣味のブームを巻き起こしました。特に広重の「名所江戸百景」などの大胆な切り取り方は、西洋美術の伝統的な技法に変化をもたらしました。
問11	答え 海岸線	幕府は国防の観点から、日本の全貌と正確な海岸線の形を知る必要性に迫られました。伊能忠敬の測量は、もともとは個人的な事業でしたが、その精度の高さが幕府に評価され、公的な国家事業として認められるようになりました。特に、北方の蝦夷地から九州に至るまで、海岸に沿って歩き、詳細な測量データが記録されました。
問12	答え モリソン号事件	アメリカの商船モリソン号が、日本の漂流民を送り届けるという名目で浦賀に来航しましたが、幕府はこれを追い返しました。この事実を知った蘭学者の渡辺崋山らが、幕府の強硬な外交姿勢を批判し、日本の防衛について議論が高まりました。
問13	答え 旗本	旗本は、将軍の直臣として江戸城に勤務し、行政や軍事の役職に就いていました。彼らの経済状況が極端に悪化したため、幕府は「棄捐令」を出し、商人からの借金を一部帳消しにする特例措置を行いました。
問14	答え 浮世絵	：浮世絵は、当時の流行や風俗を題材にした木版画です。美人画や役者絵から始まり、江戸時代後期には歌川広重や葛飾北斎により風景画が人気を集めました。
問15	答え 徳川吉宗	徳川吉宗は、質素儉約を奨励し、目安箱の設置などで庶民の意見を取り入れました。さらに、幕府の収入を増やすために、全国的な新田開発を強く命じ、農業の生産力を上げる政策を進めました。
問16	答え 新田開発	各藩は米の生産量を増やすために荒れ地を開墾したり、干拓を行ったりする新田開発を推進しました。これにより耕地面積が拡大し、年貢収入の増加が期待されました。
問17	答え 三貨	江戸幕府は金貨、銀貨、銭貨の「三貨」の基準を定め、金座・銀座・銭座で製造を独占しました。東日本では金貨、西日本では銀貨が主に使われるなど地域差はありましたが、これらの貨幣によって全国的な商業ネットワークが整備され、貨幣経済が急速に普及しました。
問18	答え 8代将軍	吉宗は、政治の安定のためには公平な裁判制度が必要だと考え、1742年に裁判の基準となる「公事方御定書」を制定しました。これにより、それまで曖昧だった処罰の基準が明文化されました。
問19	答え 参勤交代	大名は江戸と領地を1年おきに往復する義務を課せられ、江戸には妻や子を人質として住まわせる必要がありました。膨大な費用がかかるこの制度により、大名は経済的に疲弊し、結果として幕府に従う力が強まりました。
問20	答え ポルトガル船の来航	幕府は、この一揆を鎮圧した後、キリスト教の教えを広める拠点となっていたポルトガル人たちの影響を完全に排除するため、ポルトガル船の来航を禁止しました。これにより鎖国体制がより一層強化され、日本との貿易はオランダや中国などに限定されることとなりました。
問21	答え 徳川家康	1603年に征夷大将軍に任命されて江戸幕府を開きました。彼は大名を厳しい法で縛り、身分制度を定めて社会を安定させました。全国の土地と民衆を、将軍家と各大名が分担して治めるという「幕藩体制」の根幹を作り上げました。

- 問1 1776年に独立を宣言し、その後、近代民主主義のモデルとなった国を何という？
- 問2 江戸時代後期、幕府の命を受けて日本全国を測量し、正確な地図の作成に尽力した人物は誰？
- 問3 江戸時代前期の上方を中心に栄えた、井原西鶴らが活躍した文学の時代様式を何という？
- 問4 天保の改革において、物価の上昇を抑えるために株仲間を解散させた老中は誰？
- 問5 江戸時代、幕府が農村を支配するために、数軒の家を一つにして犯罪防止や年貢納入を連帯して負わせた制度を何という？
- 問6 寛政の改革を行い、農村復興などを進めた老中は誰？
- 問7 徳川家光の時代、キリスト教の禁止を徹底するため1639年に来航を禁止した船を何という？
- 問8 アユタヤの日本人町で活躍し、現地の王室とも深い関係を築いたことで知られる日本人は誰？
- 問9 江戸時代、諸藩が年貢米や特産物を保管・販売するために、全国の物流拠点である現在の大阪に設置した施設を何という？
- 問10 関ヶ原の戦い以前から徳川氏に従っていた大名を何という？
- 問11 江戸時代中期、特産物の生産奨励や専売制の導入などで財政再建を試みた老中は誰？
- 問12 徳川家康が奨励した、東南アジアとの間で行われた貿易体制を何という？
- 問13 元禄文化が花開いた当時の将軍で、文治政治をすすめた人物は誰？
- 問14 江戸時代、物資の売買や賃金の支払いに金や銀、銅銭が使われるようになった経済のあり方を何という？
- 問15 産業革命を経て工業力が飛躍的に高まり、イギリスが自称あるいは他称された呼び名を何という？
- 問16 豊臣秀吉が、全国の土地の生産力を米の量で表すために行った政策を何という？
- 問17 江戸幕府が整備した、江戸を起点として全国へ伸びる主要な5つの陸路を何という？
- 問18 江戸時代後半、大規模な飢饉に備えて農村に米を蓄えさせた制度を何という？
- 問19 江戸時代前期、上方を中心に栄えた、町人が担い手となった華やかな文化を何という？
- 問20 1774年、オランダ語の解剖学書を翻訳し『解体新書』を出版した中心人物の一人は誰？
- 問21 江戸時代の農業で、米以外の換金目的で栽培された作物のことを総称して何という？
- 問22 人間は生まれながらにして自由で平等な権利を持つという考えの基礎となり、国民が国の政治を動かすという原理を何という？

## 答え合わせ・解説

問1	<b>答え</b> <b>アメリカ合衆国</b>	アメリカ合衆国は、独立戦争の勝利を経て誕生しました。世界初の近代市民憲法を持ち、三権分立を採用した民主的な国家として運営されました。この独立運動は、イギリスの名誉革命やフランス革命と並び、世界史における「近代市民革命」の一つと位置づけられています。
問2	<b>答え</b> <b>伊能忠敬</b>	伊能忠敬は、50歳を過ぎてから天文学を学び、幕府の命を受けて全国各地へ赴きました。西洋の測量技術を取り入れ、長年にわたり徒歩で日本各地の海岸線を測量し続けました。その執念と正確な計算により、近代的な測量に基づく地図づくりを成し遂げました。
問3	<b>答え</b> <b>元禄文化</b>	：元禄文化は、武士の形式的な文化から離れ、商人たちの活力を反映した芸術文化です。文学では井原西鶴の浮世草子、松尾芭蕉の俳諧、近松門左衛門の人形浄瑠璃などが頂点を極めました。
問4	<b>答え</b> <b>水野忠邦</b>	水野忠邦は、物価が高騰する原因が商人たちの独占にあると考え、株仲間を解散させる政策を行いました。しかし、流通の仕組みが崩れてしまったため、かえって経済は混乱し、改革は不十分な結果に終わりました。
問5	<b>答え</b> <b>五人組</b>	五人組は、村内の数軒の農家をひとつのグループとして編成した組織です。年貢を確実に納めさせたり、犯罪やキリスト教の信仰を防いだりするために、グループ内で連帯責任を負わせました。もし一人が罪を犯せば、連帯責任でグループ全員が処罰の対象となりました。
問6	<b>答え</b> <b>松平定信</b>	松平定信は、老中として「寛政の改革」を実施しました。彼は、飢饉で荒廃した農村に農民を戻す「旧里帰農令」を出したり、窮民を救うための備蓄制度を整えたりと、社会不安の解消を図りました。質素儉約を奨励し、厳しい規律のなかで政治の刷新を目指しました。
問7	<b>答え</b> <b>ポルトガル船</b>	布教とセットで日本に來航していたポルトガル商船は、幕府の警戒の対象となりました。1637年に島原の乱が起きたこともあり、1639年に幕府はポルトガル船の來航を完全に禁止しました。これにより鎖国体制が決定的なものとなりました。
問8	<b>答え</b> <b>山田長政</b>	山田長政は、アユタヤに渡って貿易で成功し、現地の王室の信頼を得て軍事的な地位まで昇りました。当時の日本人町のリーダーとして、外交や軍事で重要な役割を果たしました。
問9	<b>答え</b> <b>蔵屋敷</b>	蔵屋敷は、各藩が年貢米を保管し、米問屋を通じて売却するために設けられた施設です。ここには藩の役人が常駐し、物資の集積や販売を行うとともに、藩の財政を支える窓口としての役割を果たしました。
問10	<b>答え</b> <b>譜代大名</b>	譜代大名は、家康の古くからの家臣団であり、江戸幕府において老中などの重要な役職を独占しました。一方、関ヶ原の戦いで降に従った大名は「外様大名」と呼ばれ、重要な領地から遠ざけられるなど厳しい管理下に置かれました。
問11	<b>答え</b> <b>田沼意次</b>	田沼意次は老中として、商品経済の発展に注目した改革を行いました。株仲間の結成を許可して税金をとったり、専売制を導入して幕府の収入を増やそうとしました。また、長崎貿易を拡大するなど、積極的な経済活性化策をとりました。
問12	<b>答え</b> <b>朱印船貿易</b>	徳川家康は、幕府が発行する「朱印状」という許可証を持った商船に海外へ渡航させる朱印船貿易を奨励しました。日本からは銀や工芸品が輸出され、東南アジアからは生糸や薬品などが輸入されました。
問13	<b>答え</b> <b>徳川綱吉</b>	第5代将軍として、自らも儒学の講義を行うなど学問を深く奨励しました。また、綱吉の時代には経済も安定し、華やかで人間味豊かな文化が栄える基盤が作られました。一方で、「生類憐れみの令」でもよく知られる将軍です。
問14	<b>答え</b> <b>貨幣経済</b>	それまでの米を基準とした物納中心の社会から、金・銀・銭という貨幣が広く流通する社会へと変化しました。これにより、商人が力を持つようになり、都市の町人文化が発展しました。日常の買い物も貨幣で行われるようになり、私たちの現在の生活に近い経済活動が始まりました。
問15	<b>答え</b> <b>世界の工場</b>	イギリス製の機械製品や綿製品が世界中に輸出されたため、当時のイギリスは「世界の工場」と呼ばれました。その強大な工業力は万国博覧会などで世界中に誇示され、国際経済の主導権を握ることとなりました。
問16	<b>答え</b> <b>検地</b>	豊臣秀吉は全国で「太閤検地」を行い、土地ごとの広さや生産力を米の量（石高）で客観的に評価しました。これにより、誰からどれだけ年貢を徴収すべきかが明確になりました。
問17	<b>答え</b> <b>五街道</b>	江戸幕府は、東海道、中山道、日光街道、奥州街道、甲州街道の五つの主要街道を「五街道」として整備しました。これらは幕府の直轄として厳重に管理され、大名が江戸と自領を往復する「参勤交代」のために利用されたほか、商人や旅人の往来も活発になりました。
問18	<b>答え</b> <b>天明の飢饉</b>	天明の飢饉は、浅間山の噴火や長雨による冷夏が重なり、全国的に深刻な食糧不足を引き起こした大災害です。この惨状を目の当たりにした幕府は、当時の社会不安を解消するため、農村の再建を急務と考えました。
問19	<b>答え</b> <b>元禄文化</b>	この文化は、京都や大坂などの上方を中心に発展しました。文学では井原西鶴が浮世草子を書き、近松門左衛門が人形浄瑠璃の脚本を手がけました。また、絵画では菱川師宣の浮世絵や、尾形光琳の華やかな工芸品が生まれました。
問20	<b>答え</b> <b>杉田玄白</b>	杉田玄白は、前野良沢らと協力して、オランダの解剖学書『ターヘル・アナトミア』を苦勞の末に翻訳し、『解体新書』として出版しました。人体の構造が詳細に描かれたこの本は、当時の人々に西洋医学の正しさを伝えました。
問21	<b>答え</b> <b>綿花</b>	綿花、菜種、タバコなどの商品作物は、米よりも利益率が高く、各地の気候に合わせて栽培が奨励されました。これらの作物は、加工業や地域の特産品としても発展しました。
問22	<b>答え</b> <b>国民主権</b>	国民主権は、国家の意思や権力の源泉が国民にあるという考え方です。フランス革命やアメリカ独立革命を経て、この原理が憲法に組み込まれることで、近代的な民主主義の枠組みが完成しました。

- 問1 江戸時代、清との貿易を管理するため、長崎に設置された中国人居住地を何という？
- 問2 江戸時代初期、現在のどこの国のアユタヤに渡り、朱印船貿易で活躍した日本人がいた？
- 問3 江戸時代に商人が幕府や藩から許可を得て、特定商品の販売を独占した同業者の組合組織を何という？
- 問4 天保の改革を主導し、1842年に薪水給与令を出した当時の老中は誰？
- 問5 紀元前6世紀ごろの中国で、身分の秩序や仁を重んじる教えを説き、後の東アジア思想に強い影響を与えた人物は誰？
- 問6 江戸時代初期に、海外渡航を許可するために朱印を押した公文書を発行した将軍は誰？
- 問7 1637年に始まった島原・天草一揆において、一揆軍が最後まで立てこもった城を何という？
- 問8 江戸時代、元禄文化が特に栄えた大坂や京都を中心とする地域を何という？
- 問9 江戸幕府が、主従関係や上下の秩序を重んじる思想として奨励し、身分制度の支柱とした学問を何という？
- 問10 17世紀のイギリスで、国王の権力を制限するために制定された法律のきっかけとなった、無血の革命を何という？
- 問11 江戸時代、株仲間などが営業の対価として幕府に上納した税金のことを何という？
- 問12 武家諸法度を整備し、幕府の支配体制を確立した江戸幕府の三代将軍は誰？
- 問13 江戸時代、幕府の財政基盤を支えるために、幕府が直接支配していた土地が日本全体の総石高の約何%を占めていた？
- 問14 葛飾北斎が『富嶽三十六景』で使用した、当時の西洋から輸入された化学染料を何という？
- 問15 鎖国体制下の江戸時代において、長崎に置かれた対外交流のための人工の島を何という？
- 問16 天保の改革において、物価の上昇を抑えるために株仲間を解散させた老中は誰？
- 問17 江戸時代中期、財政再建のために長崎貿易を活発にし、俵物などの輸出を奨励した老中は誰？
- 問18 商業の利益を重視し、財政再建策として長崎貿易での海産物輸出を奨励した江戸幕府の老中は誰？
- 問19 江戸時代の寺子屋で、主に教えられていた教科内容をまとめて何という？
- 問20 江戸時代、将軍から領地を与えられ、その領地を支配した武士の階級を何という？
- 問21 鎖国体制の下、長崎に設置され、オランダや中国との貿易の窓口とされた人工島を何という？

## 答え合わせ・解説

問1	答え 唐人屋敷	唐人屋敷は、中国人の居住地を制限し、密貿易を防ぐために長崎に建設されました。当初は町の中に分散していましたが、1689年に唐人屋敷が完成し、中国人はここに隔離される形で貿易が行われました。主な輸入品は絹や書籍、輸出品は銅や海産物でした。
問2	答え タイ	現在のタイにあたる当時のシャム（アユタヤ王国）には、多くの日本人が集まって日本町を築いていました。山田長政はその代表的な人物で、アユタヤ王国の高官にまで登り詰め、日本との交易を支えました。
問3	答え 同業者組織	同業者組織は、特定の商人グループが幕府等から「専売権」を与えられる代わりに、その対価として莫加金や運上金という税金を納める仕組みでした。これにより、組合員以外は商品の取り扱いが禁止され、一定の市場が保護されました。
問4	答え 水野忠邦	水野忠邦は老中として、質素倹約を強制する人返しの法や株仲間の解散など、天保の改革を断行しました。その一環として、従来の強硬な外交政策を見直し、接近する外国船に対して燃料や食料を与えて帰国させる「新水給与令」を発令しました。
問5	答え 孔子	孔子は「仁（思いやり）」や「礼（秩序）」を大切に、家族のきずなや君臣の関係における上下の秩序を重んじました。その思想は弟子たちによって語録としてまとめられ、のちの儒教へと発展しました。
問6	答え 徳川家康	初代将軍・徳川家康は、日本人の海外渡航を許可する証として、将軍の権威を示す赤い印（朱印）を押した許可証を発行しました。これを受けた船は「朱印船」と呼ばれ、東南アジア各地と活発な貿易を行いました。これにより、日本人町が東南アジア各地に形成されました。
問7	答え 原城	島原・天草一揆の際、勢力を拡大した一揆勢は、島原半島にある廃城となっていた原城を修復して立てこもりました。幕府は九州全域の諸藩から軍隊を動員し、長期間にわたる包囲戦の末に原城を攻略し、一揆勢を鎮圧しました。
問8	答え 上方	豊臣秀吉の時代から続く商工業の発展に加え、物流の拠点である大坂の経済力を背景に、町人を中心とした華やかな文化が開花しました。これが「元禄文化」であり、文学、絵画、芸能など多くの分野で革新的な表現が誕生しました。
問9	答え 朱子学	朱子学は、儒教の一派で、上下の秩序や主君への忠義、親への孝行などを重んじる思想です。徳川家康以来、江戸幕府はこの学問を奨励し、武士の教養としてだけでなく、厳しい身分制度を正当化するための思想的基盤として利用しました。
問10	答え 名誉革命	この革命は血を流さずに行われたことから「無血革命」とも呼ばれます。革命の後、議会は国王の権力を制限する「権利の章典」を制定し、法律に基づいた政治を行う原則を確立しました。
問11	答え 運上	運上は「莫加」と並び、株仲間の商人が営業を許可される対価として定期的に納める税金です。主に鉱山経営や特定の商売を独占している者から徴収されました。これにより幕府は商人の経済活動を公認し、全国的な流通網を管理下に置こうとしました。
問12	答え 徳川家光	三代将軍として、武家諸法度をより厳格にし、大名や朝廷への統制を強めました。また、キリスト教の禁止や貿易の制限を行い、鎖国体制を完成させました。これにより、幕府の権力は圧倒的なものとなり、徳川氏による世襲の支配体制が盤石となりました。
問13	答え 24	「天領」とも呼ばれる幕府の直轄地は、総石高の約24%を占めていました。これによって幕府は安定した米の収入を得ることができ、江戸という大都市を維持し、全国の藩を統制するための財政力を確保しました。
問14	答え ペロ藍	ペロ藍は、フェルロ（ベルリン）で開発されたことから名付けられた化学染料で、従来の天然染料では出せなかった深みのある鮮やかな青色を表現できました。葛飾北斎はこれを用いた風景画で、それまでにない色彩表現を確立しました。
問15	答え 出島	出島は、長崎の港内に築かれた扇形の人工島です。当初はポルトガル人を収容するために建設されましたが、後にオランダ商館が移転し、江戸時代を通じてオランダとの貿易や情報交換が行われる唯一の窓口となりました。
問16	答え 水野忠邦	水野忠邦は、物価が高騰する原因が商人たちの独占にあると考え、株仲間を解散させる政策を行いました。しかし、流通の仕組みが崩れてしまったため、かえって経済は混乱し、改革は不十分な結果に終わりました。
問17	答え 田沼意次	田沼意次は、老中として商業を積極的に保護・活用する政策を展開しました。特に長崎貿易を振興し、干シアワビやフカヒレなどの海産物である「俵物」を輸出することで利益を得ようとしていました。
問18	答え 田沼意次	田沼意次は老中として、株仲間の結成を認めて税を徴収したり、長崎貿易での海産物などの輸出を奨励したりと、商業を積極的に活用する政策を推進しました。これは、貨幣経済の発展に対応した新しい時代の先取りとも言える方針でした。
問19	答え 読み・書き・そろばん	寺子屋では、文字を読むための「読み」、毛筆で書くための「書き」、そして計算のための「そろばん」が教えられました。これらは当時の庶民が生活する上で必要不可欠な技術であり、実用性を重視した教育が行われていたのが特徴です。
問20	答え 大名	大名は1万石以上の知行高を持つ武士の呼称です。自領内での行政や徴税を行う権利を持っていましたが、幕府から厳しい監視を受けました。参勤交代や様々な法令によってその経済力や武力を抑えられ、幕府の権威が盤石なものとなりました。
問21	答え 出島	長崎に築かれた扇形の人工島「出島」は、当初はポルトガル人を隔離するために造られましたが、その後、オランダ商館が移され、鎖国中の唯一のヨーロッパとの窓口となりました。オランダ人や中国人はこの島に居住を制限され、幕府の監視のもとで交易が行われました。

- 問1 朱印船貿易が盛んだった時代、東南アジア各地の港町に形成された日本人の居住地を何という？
- 問2 1669年、松前藩による不当な交易や支配に反対して、大規模な蜂起を指導した人物は誰？
- 問3 江戸時代初期、幕府の許可を受けた船が東南アジア各地へ渡航して行われた貿易を何という？
- 問4 江戸時代、幕府から蝦夷地での交易を独占する権利を認められ、アイヌの人々と商取引を行った藩を何という？
- 問5 江戸時代に、太夫の語りと人形を操る動きに合わせて演奏された、伝統的な弦楽器を何という？
- 問6 江戸幕府が、キリスト教の禁止や貿易の制限などを通じて行った、海外との往来を厳しく制限する政策を何という？
- 問7 江戸時代、諸藩が年貢米や特産物を売りさばくために、大坂などの主要都市に置いた拠点は何という？
- 問8 山田長政が指導者となり、東南アジアのシャムで日本人が居住していた場所を何という？
- 問9 江戸時代、年貢の取り立てなどに苦しみ、支配層に反抗した農民のことを何という？
- 問10 18世紀後半のフランスで、国王による絶対的な支配を倒し、自由や平等を求めた出来事を何という？
- 問11 江戸時代、参勤交代などによる人や物の往来のため、江戸を起点として整備された主要な五つの街道を何という？
- 問12 江戸幕府が諸大名を統制するために、将軍が大名に対して義務づけた、江戸と国元を往復させる制度を何という？
- 問13 『解体新書』の刊行をきっかけに、日本で発展することとなった学問分野を何という？
- 問14 江戸時代、幕府が全国支配のために、諸国の支配者たちを統制する対象とした人々を何という？
- 問15 18世紀後半、北アメリカ大陸に築かれた、イギリスからの重い課税に反発して独立運動を起こした地域を何という？
- 問16 産業革命において、工場の動力源となり、大量生産を可能にした発明を何という？
- 問17 18世紀後半、幕府の財政を立て直すために商工業者の株仲間を公認し、営業税を納めさせた老中は誰？
- 問18 17世紀後半、流血を伴わずに国王を交代させた革命が行われた国はどこですか？
- 問19 『東海道中膝栗毛』に登場する、江戸から伊勢参りへ向かう二人の主人公の一人で、名前の最後が「兵衛」である人物は誰？

## 答え合わせ・解説

問1	答え 日本町	日本町は、商人が集まって住み、交易の拠点やコミュニティとして機能した場所です。特にシャム（タイ）のアユタヤにある日本町は最大規模で、山田長政などの日本人が活躍したことで知られています。
問2	答え シャクシャイン	1669年、アイヌの指導者シャクシャインは、各地のアイヌをまとめ上げて松前藩に対する大規模な蜂起を起こしました。これは、一方的な交易条件を強制されていたことに対する抵抗でした。
問3	答え 朱印船貿易	朱印船貿易は、幕府から許可を受けた商人たちが、タイ（当時のシャム）やベトナム、ルソンなどの東南アジア諸国へ渡り、日本からは銀や銅を輸出し、生糸や薬品などを輸入する交易です。日本人の活動範囲が広く、多くの商人が東南アジアに定住しました。
問4	答え 松前藩	松前藩は、アイヌの人々との交易を独占することで利益を得ました。主な交易品は、鮭や昆布といった海産物と、日本本土から運ばれた米や布、鉄製品などでした。
問5	答え 三味線	人形浄瑠璃は、太夫による語りと人形の操作、そして三味線の伴奏が一体となって進行する総合芸術です。特に、この三味線の音色が物語の情景や登場人物の心情を豊かに表現するため、観客を強く引きつけました。
問6	答え 鎖国	鎖国は数段階を経て完成しました。日本人の海外渡航を禁止し、キリスト教を禁じ、外国船の来航を制限しました。しかし、完全な国閉ざしではなく、長崎・対馬・薩摩・松前の「四つの口」を通じて、オランダ、清、朝鮮、琉球とは制限付きの貿易や交流が続いていました。
問7	答え 蔵屋敷	大坂には諸藩が「蔵屋敷」という拠点を設けました。ここには年貢米や領内の特産物を保管する倉庫のほか、それらを販売・換金するための役所や取引所が備わっていました。大坂の商人はここを拠点に各地の藩と取引を行い、全国の物流ネットワークを構築しました。
問8	答え アユタヤの日本町	アユタヤの日本町は、当時のシャムの首都アユタヤに形成された日本人の居住区です。山田長政はこの町の指導者として、現地の王族との仲介役を果たし、経済的・軍事的な力を持ちました。この町は日本製品と東南アジアの特産物との交換拠点として栄えました。
問9	答え 百姓	百姓たちは団結して村の代表者が領主に直訴する「代表越訴」や、武装して抵抗する「一揆」などを行い、自らの権利や生存を守ろうとしました。これは支配体制に対する強い不満の表れであり、幕府や藩の統治に大きな緊張を与えました。
問10	答え 絶対王政	絶対王政とは、王が議会に縛られず、軍事力と官僚組織を駆使して国民を統治する制度です。しかし、度重なる戦争や贅沢な生活により国家財政は破綻寸前となり、国民の不満が爆発しました。1789年に起こったフランス革命は、この古い政治体制を根本から打ち破る市民革命となりました。
問11	答え 五街道	五街道とは、東海道・中山道・日光街道・奥州街道・甲州街道の五つを指します。幕府は街道に宿場を整備し、旅人のための施設や公用交通のための仕組みを整えました。これにより物流が活発化し、江戸の街には全国から特産品が集まるようになりました。
問12	答え 参勤交代	諸大名は1年おきに自分の領地と江戸を往復しなければなりません。また、大名の妻子を江戸に住まわせることも義務付けられました。これにより大名は江戸への移動費や滞在費で多くの出費を強いられ、軍事力を蓄える余裕を失うとともに、幕府への忠誠を誓う形となりました。
問13	答え 西洋医学	杉田玄白らが『解体新書』を出版したことにより、西洋医学の知識は広く知られるようになりました。それまでの「病は気やバランスによるもの」という考え方に加え、内臓の構造などを実際に観察する「科学的」なアプローチが導入されました。
問14	答え 大名	大名は、1万石以上の領地を持つ武士の呼称です。幕府は彼らを親藩・譜代・外様というグループに分け、配置を工夫することで互いに監視させたり、転封によって勢力を強めさせないようにしました。
問15	答え 13植民地	イギリス本国は、戦争費用の捻出のためにこれらの植民地に対して重い税を課しました。これに対し、植民地の入植者たちは「代表なくして課税なし」と主張し、自治権を求めて強く反発しました。これがきっかけとなり、ボストン茶会事件などを経て、独立への動きが加速しました。
問16	答え 蒸気機関	ジェームズ・ワットらによって改良された「蒸気機関」は、石炭を燃やして発生した蒸気のみで動力を得る仕組みです。これにより、場所を選ばずに工場を建てるのが可能となり、さらに綿織物などの生産工程が機械化されたことで、飛躍的に生産効率が向上しました。
問17	答え 田沼意次	田沼意次は、商工業者の同業者組織である「株仲間」を積極的に公認しました。それにより幕府は、株仲間から運上金や冥加金という名目で税を徴収し、財政の安定を図りました。また、長崎貿易を拡大するなど、貨幣経済の流通を活発化させる政策を推進しました。
問18	答え イギリス	1688年、イギリスでは議会在王を追放し、新たに国王を迎え入れるという大きな変化が起きました。大きな武力衝突がなかったため「名誉革命」と呼ばれます。これにより、議会在国の重要な決定を行うという現在の議会在政治の原型が確立されました。
問19	答え 弥次郎兵衛	弥次郎兵衛は、江戸時代の代表的な滑稽本『東海道中膝栗毛』の中心人物の一人です。もう一人の主人公である喜多八とともに、江戸を発ち、各地の名所や宿場で失敗や騒動を繰り返しながら旅を続けます。お調子者で失敗の多い彼らの姿は、当時の町人たちの共感を呼びました。

- 問1 江戸時代に、極端な動物愛護を命じた徳川綱吉は何代目の将軍？
- 問2 江戸時代に農民が年貢の減免などを求めて起こした反乱を何という？
- 問3 大塩平八郎がかつて勤めていた、江戸時代の大坂において行政や裁判を担当していた役所を何という？
- 問4 江戸時代、将軍から領地を与えられ、その領地を支配した武士の階級を何という？
- 問5 江戸時代中期の元禄文化において、上方を中心に町人文化の担い手として活躍した人物は誰？
- 問6 江戸幕府が大名を分類した際、徳川氏の一族にあたる大名を何という？
- 問7 17世紀初めに京都で「かぶき踊り」を始め、歌舞伎の起源となった人物は誰？
- 問8 伊能忠敬の測量によって作成された、日本初の正確な全国地図を何という？
- 問9 マニュファクチュアにおいて、労働者が手作業で効率的に生産するために行われた手法を何という？
- 問10 江戸幕府が1639年に禁じ、南蛮貿易を終結させる決定打となった行為を何という？
- 問11 『東海道五十三次』などの優れた風景画を残した、江戸時代の浮世絵師は誰？
- 問12 18世紀末、フランス革命によって市民が打破しようとした、国王が絶対的な権力を持つ政治体制を何という？
- 問13 江戸時代後期に水野忠邦が主導し、商人の株仲間を解散させるなど物価の安定を試みた幕政改革を何という？
- 問14 中山道が東海道と異なり、海沿いではなく山側を通る場所を指す言葉は何か？
- 問15 江戸幕府が実施した、樺太や間宮海峡の地理的状況を明らかにするための調査を何という？
- 問16 江戸時代の幕藩体制において、将軍から領地を与えられ、その地を支配していた武士の身分を何という？
- 問17 江戸時代、全国の商業と物流の中心地として栄え、「天下の台所」と呼ばれた都市はどこ？
- 問18 薩摩藩が支配し、その特産品である黒砂糖の利益を得て藩の財政を支えた国を何という？
- 問19 江戸時代後期に三十五年以上の歳月をかけて、古事記の注釈書を完成させた国学者は誰？
- 問20 寛政の改革を行い、農村復興などを進めた老中は誰？
- 問21 江戸時代、米の価格高騰に苦しんだ都市の民衆が、商人や米屋を襲った暴動を何という？

## 答え合わせ・解説

問1	答え 5代将軍	第5代将軍・徳川綱吉は、儒教を尊び、文治政治を強力に押し進めました。その政策の一つとして出された「生類憐みの令」は、極端な動物愛護を強制するもので、庶民から武士に至るまで厳しい制限が課されました。
問2	答え 百姓一揆	飢饉や重税に対して、村単位や地域単位で結束して直訴や強訴を行う行為です。単なる暴動ではなく、農民が自らの権利を守るための切実な手段でした。
問3	答え 大坂町奉行所	大坂町奉行所には、江戸から派遣された奉行が置かれ、町方の行政や治安維持、裁判を行っていました。大塩平八郎はこの役所で与力という中級役人を務めており、陽明学に精通し、高い正義感を持っていたことで知られています。
問4	答え 大名	大名は1万石以上の知行高を持つ武士の呼称です。自領内での行政や徴税を行う権利を持っていましたが、幕府から厳しい監視を受けました。参勤交代や様々な法令によってその経済力や武力を抑えられ、幕府の権威が盤石なものとなりました。
問5	答え 近松門左衛門	近松門左衛門は、特に人形浄瑠璃の脚本で名声を博しました。義理と人情の板挟みになる庶民の心情を鮮やかに描き出し、人々の共感を呼びました。代表作には『曾根崎心中』などがあります。
問6	答え 親藩	分類は「親藩」「譜代」「外様」の三つです。親藩は徳川家康の子たちが開いた藩（水戸・尾張・紀伊の御三家など）を指します。彼らは家格が高く、将軍に万が一のことがあった際に後継者を出す重要な役割を担っていました。
問7	答え 出雲の阿国	出雲の阿国は、奇抜な衣装や派手な動きを取り入れた「かぶき踊り」を京都で披露し、爆発的な人気を博しました。これが次第に男性による演劇へと変化し、現在の歌舞伎の原型となりました。
問8	答え 大日本沿海輿地全図	伊能忠敬が足かけ17年をかけて日本全国を歩き、天体観測と距離測定を行って作成した地図です。それまでの地図とは比較にならないほど海岸線や山河の位置が正確で、現代の地図と比較しても大きな誤差がない驚異的な精度でした。
問9	答え 分業	マニュファクチュア（工場制手工業）では、資本家が工場を作り、多くの労働者を集めました。一人の作業者が全工程を行うのではなく、作業を細かく分けて分業させることで、効率よく大量の製品を生産することが可能になりました。
問10	答え ポルトガル船の来航	1637年の島原・天草一揆を経て、幕府はキリスト教を厳しく弾圧しました。その一環として、キリスト教を広めるポルトガル船の来航を禁止し、1639年に南蛮貿易を完全に終結させました。
問11	答え 葛飾北斎	葛飾北斎が『富嶽三十六景』で富士山を題材にしたのに対し、歌川広重は『東海道五十三次』で、宿場町と旅人の情緒的な風景を繊細に描き出しました。彼らの作品は、ただの記録ではなく、芸術的な視点から風景を捉えたものとして評価されています。
問12	答え 絶対王政	国王が法律や軍事のすべてを決める権限を持っていたため、一部の王族や貴族だけが贅沢をし、市民や農民には重い税金が課されました。18世紀末のフランスでは、この不平等な社会に限界を感じた市民が立ち上がり、自由と平等を求めて革命を起こしました。
問13	答え 天保の改革	老中水野忠邦は、物価抑制策として株仲間を解散させ、流通を自由にしようとした。また、江戸の人口を減らすための人返しの法や、奢侈を禁じる儉約令などを出しました。
問14	答え 内陸	中山道は東海道と異なり、海を避けて山岳地帯を進む経路として整備されました。現在の群馬県から長野県にかけての碓氷峠のような険しい山道が含まれていたため、「内陸」の街道として知られています。
問15	答え 北方探査	幕府の命を受けた間宮林蔵は、樺太が島であることを発見し、大陸との間の海峡（のちに間宮海峡と命名）を確認しました。この成果により、北方の海図や地理知識が飛躍的に向上しました。
問16	答え 大名	大名は、将軍から1万石以上の領地を拝領し、そこで行政や裁判、年貢の徴収を行う領主です。大名は家臣を従え、自分の領地である「藩」を治める一方で、江戸と領地を往復する「参勤交代」を行う義務を負っていました。これにより、幕府は全国の武士を強力に統制していました。
問17	答え 大阪	大阪は、諸藩が年貢米や特産品を販売する「蔵屋敷」が数多く設置された場所であり、全国の米や商品がここに集結しました。ここから江戸などへ物資が送られたため、全国の商業と物流の拠点となり「天下の台所」と呼ばれました。また、金銀の交換や為替などの金融機能も非常に発展していました。
問18	答え 琉球王国	薩摩藩は琉球王国を支配し、甘蔗（サトウキビ）の栽培を奨励して、加工された「黒砂糖」を独占的に販売することで巨額の利益を得ました。この経済的な圧迫は、琉球の社会や暮らしに大きな影響を及ぼしました。
問19	答え 本居宣長	本居宣長は、三重県の松阪を中心に活動し、三十五年以上の歳月をかけて『古事記伝』を著しました。彼は古事記を読み解くことで、日本人の心のあり方や古来の知恵を明らかにしようとした。
問20	答え 松平定信	松平定信は、老中として「寛政の改革」を実施しました。彼は、飢饉で荒廃した農村に農民を戻す「旧里帰農令」を出したり、窮民を救うための備蓄制度を整えたりと、社会不安の解消を図りました。質素倹約を奨励し、厳しい規律のなかで政治の刷新を目指しました。
問21	答え 打ちこわし	怒った民衆は、米を買い占めている疑いのある豪商や米屋の家を破壊し、米の安売りを強要する「打ちこわし」を行いました。これは一種の社会的な抵抗運動でした。